

（仮称）石狩市芸術文化ホール 建設実現 「キック・オフ」イベント

【日時】 令和4年12月15日（木）19:00～

【場所】 花川北コミュニティセンター2階A, B, C会議室

【主催】 NPO法人石狩市文化協会











札幌市民ホール(カナモトホール)は、総額約20億円という破格の整備費(※一般的に1,500名規模のホールは整備費100億円程度)で設置されており、天井を張らず、外壁と内壁を同素材にするなど、様々な材料のコストダウンが図られている。

札幌市は大和リースの協力を得て、リース方式によって同施設を建設し、賃貸借契約を締結し、設置した。

石狩市もこの民間設置リース方式を参考として、コストの大幅な削減とランニングコストの低廉化を図り、持続可能な施設となる(仮称)石狩市芸術文化ホールの建設を目指す。

当協会が要望する 「(仮称)石狩市芸術文化ホール」の建設概要

【建設の目的とコンセプト】

- ①札幌近隣の唯一無二の広域的な施設として、市内で活動する各種サークル、団体、市民の利用のほか、近隣の市町からの利用も促す。

【建設の目的とコンセプト】

②公民館機能との役割分担を図り、音響面に配慮されたホール機能に特化し、特にランニングコストを最小化し、利用料金を低く抑えることにより、これまでは演目の規模や集客の面から地域での小さな活動に留まっていた、音楽（管弦楽・吹奏楽・合唱・個人ライブなど）、演劇、市民活動に取り組まれてきた方々や若年世代の新たな目標の場となるよう、コンパクトで特徴的な施設を目指す。

【建設の目的とコンセプト】

③建設場所は旧公民館の跡地とし、立地の優位性を最大限発揮させるため、駐車スペース(職員駐車場を活用した土日の臨時分を含む)を相当数(出演者+来場者)確保する。

【施設の設置・運営】

札幌市民ホール(カナモトホール)は天井を張らず、外壁と内壁を同素材にするなど、様々な材料のコストダウンを図りながら、民間とのリース契約により建設を実現したが、石狩市も同方式を参考として、コストの大幅な削減とランニングコストの低廉化を図られた施設を目指す。

【施設想定】

座席数は250～300席を想定する。

※札幌市の区民ホール200席と北コミ収納式可動客席398席の座席数を考慮し、建設費と利用者想定数との兼ね合いにより決定

